

2021年10月26日

COP26に向けたプラン・ユースからの声明

気候変動枠組条約第26回締約国会議(以下、COP26)を前に、私たちユースは世界各国のリーダーたちに、教育における女の子の優先事項を明確に反映させ、気候変動正義のための運動における女の子のリーダーシップを認めるよう求めます。

COP26は、G7で採択された女子教育に関する宣言や今年初めの世界教育サミットにおける約束を踏まえ、ジェンダー・トランスフォーマティブな教育(ジェンダーに関して行動変容を促す教育)が、気候正義を推進する上で極めて重要であることを認識する絶好の機会です。COP26における「気候エンパワーメントのためのアクション(ACE)」に関する見直しは、より進歩的且つジェンダー・トランスフォーマティブであり、質の高い気候変動教育と気候に関する意思決定への参加を求めるユースの声に応えるものでなければなりません。COP26で採択される内容は、今後5年間でスケールアップした具体的な行動が示されるべきであり、明確な説明責任のメカニズムを含むべきです。

女子教育は、気候変動による影響が甚大になりやすいのと同時に、気候危機に対する重要な解決策でもあります。異常気象は、校舎や通学路の破壊、広範囲に及ぶ国内避難、貧困や食料不安の増大、生活への影響、消極的な対処法など、すべての面で就学率に影響を与えます。しかし、その影響はコミュニティの中で平等ではありません。差別的な社会規範やジェンダー規範により、女の子や女性、人種、セクシュアリティ、障害、民族、経済的地位などが原因で取り残されている人々は、気候変動の影響を不均衡に受けるにも関わらず、その影響に対処するためのリソースが極端に少ない状況にあります。特に女の子は、不平等な家事負担が増加することで、退学や欠席をする可能性が高くなります。現在の傾向が続けば、2025年までに気候変動が原因で、毎年少なくとも1,250万人の女の子が教育を受けることができなくなると考えられます。このことは、教育におけるジェンダーギャップをさらに定着させ、女の子の気候変動への適応能力を損ない、気候変動対策や将来の安定した生活に必要な知識やスキルを身につけることを妨げることとなります。

適応能力や環境に配慮した行動を身につけ、女の子のリーダーシップを可能にする方法のひとつは、教育です。質が高く、行動変容を促す教育は、気候危機に取り組むために必要なスキルと知識を女の子に与え、自分たちの権利を主張・行使させ、リーダーや意思決定者としての力を与えることができます。そのためには、学校教育が、社会正義を中心におき、批判的思考や、自信を育む方法、環境に配慮したスキルやライフスキルを身につけられるよう改革される必要があります。また、市民活動を支援し、社会正義と平等を推進し、ユースが政府に責任を問い、政治や政策プロセスに関与できるような教育システムを確保する必要があります。これは、特に最も取り残されがちな人々が継続的に教育を受けられるように、危機や混乱の中でも教育が継続できるような回復力のある教育システムを構築することにつながります。

気候変動に対する長期的な解決策を見出すためには、教育の変革や、ユースへの有意義で安全な活動の機会提供とともに、交差的で人権に基づくアプローチが必要です。気候変動は、社会的、経済的、政治的な問題であり、社

会のあらゆる関係者・機関が協力して解決策を見出す必要があります。それゆえに、気候政策の意思決定プロセスは、国際的にもまた国内事項としても非常に複雑にならざるを得ず、その結果、取り残されがちな人々を包括するものとはなっていないのが現状です。ユースの中でも特に取り残されがちな人々が、自分と自分の未来に最も影響を与える決定に関与し、影響を与えることができるように、この複雑さを単純化することで、気候変動政策プロセスをよりアクセスしやすいものにすることが急務です。

私たちは、ジェンダー平等、教育、気候変動対策に対する各国政府によるこれまでの取り組みを評価する一方で、COP26 へユースの声を反映させるための施策を取ることを求めます。

1) COP26 で、適応能力や環境に配慮した行動を選択し、あらゆる場面で気候正義を推進するための教育の役割の重要性を認識するだけでなく、ジェンダートランスフォーマティブ・アプローチに基づく教育の導入を推進してください。

- a. COP26 における政府代表団のブリーフィングや勧告、関連する交渉、イベント、ハイレベル声明において、質の高い気候変動教育の実施をすすめてください。
- b. COP26 の気候変動教育に関する大臣サミットで、ジェンダー・トランスフォーマティブな教育とユースのリーダーシップへのコミットメントへの誓約を公表してください。
- c. 誓約で触れる取り組みのなかで、COP26 で設定される「ユースと公共エンパワーメント・デー」を積極的に活用してください。

2) ユースの中でも女性が、各国の COP26 の公式代表団に参加し、締約国会議や関連する気候変動政策のプロセスに参加する機会を与えられるようにしてください。

- a. 国による説明会、会議、パネル、ハイレベルプロセスにユースが有意義に参加でき、関連する交渉もオブザーバー参加ができるようにしてください。
- b. ユースの意見や提言が尊重され、評価され、意思決定に影響を与えられるような、環境整備を求めます。
- c. 気候変動関連会議にユースが出席するために必要なパスポートやビザの取得などへの支援をお願いします。

3) ユースの声に耳を傾け、彼らの提言を政策に反映させてください。

- a. 「Children, Youth and Climate Action Declaration」への署名をお願いします。
- b. Mock-COP マニフェスト¹および Youth4Climate サミット²の勧告への賛同をお願いします。
- c. ユースが作成、公表した気候変動対策への提言を支持・支援してください。

¹ COP26 が 2021 年に延期されたことを問題視した世界のユースによって 2020 年 7 月に設立されたキャンペーン。2021 年 11 月には国際会議が開催され、COP26 議長、イタリア環境大臣、国連青少年担当特使も参加。140 カ国の代表となった若者 330 名が議論を重ね、COP26 と各国首相に向け「18 の政策提案」を行ったことで、世界で注目を集め、「#MockCOP26」へのアクセスは 240 万を越えた。2021 年 11 月に開催される COP26 運営事務局とユースの会議への平等な参加に向け、定期的に会議を開催。

² 2021 年 9 月 28～30 日にイタリアのミラノで 180 カ国のユース気候活動家が参加したサミット。COP26(第 26 回国連気候変動枠組条約締約国会議)に勧告を行った。